

WEEKLY NEWS 2018 週報 通算 2243回 《11回》

第2640地区 和歌山東南ロータリークラブ

会長：鯨 拓也 幹事：宇治田堅三 会報委員長：籠田 弘



ロータリー：
変化をもたらす

例会日：水曜日 例会場：ルミエール華月殿 第1・第2:18:30～(夜) 第3・第4・第5:12:30～(昼)
事務局 E-Mail a-rotary@coral.cypress.ne.jp http://www3.cypress.ne.jp/tonan-rotary.html

本日の例会
9月27日(水)
12:30～華月殿

- ・開会点鐘 鯨会長 ・ロータリーソング 花になろう 鳥になろう ・出席報告(例会委員会)
- ・ニコニコ箱(寄付金)報告 ・会長挨拶 ・幹事報告 ・委員会報告
- ・行事 卓話「ガバナー補佐よりのお話し」第2640地区ガバナー補佐 大山典男様
- ・閉会点鐘 鯨会長 「例会終了後 クラブ協議会」華月殿4F

先週例会報告 会場監督 塩崎 和仁

三井住友銀行 和歌山法人営業部 部長 上田孝典様、武田宏二郎様

会長挨拶

鯨 拓也 会長

皆さん、こんにちは。

今日は、三井住友銀行 和歌山法人営業部 部長 上田孝典さんにお出で頂いております。外部卓話『我が国の人口動態の現状』なかなかお堅いタイトルでお話いただきます。よろしくお祈りいたします。

さて、ワールド大阪ロータリーEクラブより、先週の金曜日と昨日、相次いで2通のmailが送られてきています。

一通は、昨年度のガバナー及び2640地区会長幹事宛てで、タイトルは『2016～2017年度 国際ロータリー第2640地区 決算書類開示請求の件』となっており、請求内容は、当該年度の決算書類の台帳・金融機関の通帳全部・ガバナーエレクト事務所開設初期費用・地区大会決算の開示を要求しており、開示場所は今年度ガバナー事務所で開示期間は9月25日～10月6日迄と場所、期限を指定しています。

二通目、昨日のものは現2640地区及び直前ガバナー並びに各クラブ会長幹事と会員宛て、タイトルは『2016～2017年度決算書の不可解な疑問点指摘 国際ロータリー第2640地区直前ガバナー様 2017年9月19日』となっています。

それから、かねてより申請していた今年度ロータリー財団地区補助金がRI財団に承認されたのでご報告しておきます。

赤在さん、幹事の宇治田さんはもとより、山本唯二さんには尽力いただきありがとうございました。



ロータリー財団

小林 一三 会計

稲葉君・物故会員の追悼 ありがとうございます。

米山記念奨学会

宇治田君・三井住友銀行 上田部長様、武田様、卓話よろしくお祈りいたします。



Rotary  和歌山東南ロータリークラブ

	ニコニコ	米山記念奨学会	ロータリー財団	東南育英会
累計	725,186	270,000	197,000	37,000

出席報告			出席者	出席率
会員総数	43名	9/20	29名	70.73%
出席免除会員	4名	9/6	36名	92.31%

幹事報告

宇治田堅三 幹事



- ① 2件事務局に届いておりますので、各テーブルに一部置いてあります。お目通しいただき、御入用の方はお持ち帰りください。 ・ハイライトよねやま Vo1210
・日本ライトハウス盲導犬訓練所より「2018年盲導犬育成チャリティーカレンダー」発売案内。
- ② 和歌山中RCとの合同例会・親睦ゴルフコンペのご案内。今年のホストクラブは和歌山中RCです。皆様のご出席よろしくお願い申し上げます。
「合同例会」日時・場所: 11月17日(金) 18:30~20:30、ダイワロイネットホテル和歌山4F
「親睦ゴルフコンペ」日時・場所: 11月17日(金) スタート8:21、
シプレカントリークラブ (奈良県五條市)
- ③ 来週27日(水) 例会終了後 華月殿4階にて、大山ガバナー補佐をお迎えしてのクラブ協議会を開催いたします。役員・理事・委員長・入会3年未満の会員の皆様、御出席宜しくお願い致します。

ニコニコ箱

小林 一三 会計



鯨君・本日卓話、上田様よろしくお願ひします。
稲葉君・久しぶりです。孫も7歳になりました。
竹中君・上田孝典様 本日卓話よろしくお願ひします。
奥村君・竹中様 大変お世話になりました。
中曾君・東南会1回目 おつかれ様でした。
坂本君・第1回東南会ゴルフコンペで優勝しました。
ご結婚記念日お祝ひ・中岡君、中曾君。

「委員会報告」

社会奉仕委員会 委員長 赤在 依美



和歌山東南ロータリークラブ 2017年~18年度社会奉仕事業は、
がん検診の啓発とチャリティーこころコンサート
~今つなぐ「いのち」のバトン~

開催日 : 2018年2月16日(金)
場所 : 和歌山県民文化会館 小ホール
開場 : 18:00 開演18:30
入場料 : 2,000円予定

2017~18年ロータリー財団地区補助金が、RI財団より上記事業の承認が得られました。
加えて和歌山県 地域・ひと・まちづくり補助事業の認定も得られました。

○ 1部はパネルディスカッション

早期発見早期治療の促進・受動喫煙について・他について

参加パネリストは、和歌山医科大学病院 呼吸器内科 山本信之教授

神戸大学附属病院乳腺分泌外科匿名准教授 谷野裕一診療科長

を迎え一般パネリスト・がん支援ボランティア団体の方々他を予定。

○ 2部は、身心の疲れを癒す「音楽人かなでびと」の「こころ」コンサートです。

後援は和歌山県、和歌山市にお願い致します。

チラシ・ポスター等の配布は11月半ば頃を予定しています。

会員の皆様のご協力をどうぞ宜しくお願い致します。



♪ 9月 ご結婚記念日お祝い♪



外部卓話 (株)三井住友銀行 和歌山法人営業部 部長 上田 孝典様 テーマ「我が国の人口動態の現況」



(1) 日本の人口動態

- 日本の出生率は直近で 1.44。人口を維持する目安となる 2.08 には遠く及ばない数字となっている。
- 総人口のピークは 2008 年。
- 現状の人口動態では、生産年齢人口の割合が年々減少する中、老年人口は増加し、10 年後の老年人口の割合は 30% を超えると予息されている。

(2) 和歌山県の人口動態

- 和歌山県全体での人口が 2025 年には約 10%、2035 年には約 20% 減少していくと見られている。
- 和歌山市や岩出市では比較的緩やかな人口減が予想されている一方、2035 年には、多くの市町村で減少率が 30% 超えとなると予想される。
- 和歌山市における人口の流入/流出状況については、和歌山市で約 800 人(2016 年)の転出超過となっており、その主な転出先は関西、次いで関東地域が多い。

(3) 和歌山県における消費の動向

- 2035 年の年齢別消費支出総額の予側では、70 代は 2015 年対比堅調に推移すると見られる一方で、40 代の消費は 2015 年対比 3 割以上減少すると見られている。
- その要因としては、現在 40 代の『段階ジュニア世代』が年を重ねていくことによる影響が大きい。
- 品目別の消費支出総額の推移については、特に「教育」と「居住」支出が減少すると予想される。この 2 点は少子化・高齢化の影響を特に受けやすい品目であると言える。
- 一方で「保険医療」の支出は、比較的他品目より減少幅は小さい。
- こちらも高齢化の影響を受けやすい品目ではあるが、前者とは違い高齢化が下支えをしていると考えられている。

(4) 労働市場に与える影響 (全国ベース)

- 労働需要は増加する一方で、供給可能労働力は減少あるいは横這い程度しか見込めず、供給から需要を差し引いた需給ギャップは今後縮小していくと考えられる。
- 外国人の方の労働参加や女性の労働参加の上昇などは考慮されていないものの、近い将来には労働市場の需給は逼迫することが見込まれる。
- 実際に、ここ数年は需給ギャップの縮小が続いており、それに合わせるようにパートアルバイトの賃金の上昇が見られる。
- 労働需給逼迫が進むにつれて、賃金の引き上げ圧力は更に高まることも考えられる為、「人手不足」という問題はますます大きな悩みの種になることが予想される。

「砂防ダムが農家の収入を増やし、若者の流出に変化をもたらす」

By Rasheeda Bhagat

MY ROTARY ニュース・特集記事より抜粋 Feature 06-Sep-2017



砂防ダムの高さは4.3メートル、基盤の深さは2.1メートル、集水域は幅3〜7キロです。

写真提供: Rasheed Bhagat

少し前まで、ラジャスタン州(インド)のシカー地区、アルワ地区の若者は、仕事を求めて都会に出ていました。雨量が不安定なため農業用水が不足し、家族を養うために農業を諦めるほかなかったためです。

「以前の村は年寄りだけでしたが、今は若い人たちが戻ってきました」

ゴバーダンさん プロジェクト受益地域に住む老人

「244メートルの深さの井戸でも水を得るのが困難だった」と、村の老人ゴバーダンさんは言います。「灌漑用水をモンスーンの水だけに頼っていたら、水不足になり、若者も仕事を求めて大都市へ行ってしまいました」今では、ロータリーの水プロジェクトのおかげで農業が再び黒字となり、若者が村に戻ってきました。砂防ダムをつくり、地面に浸透した雨水が流れ出さないようにすることで収穫が可能になりました。農家は、この水を利用して井戸の水を確保します。砂防ダムは、一般的なダムのように川をせき止めるものとは異なり、貴重な雨水の流出を防ぐためのものです。「以前の村は年寄りだけでしたが、今は若い人たちが戻ってきました」と、プロジェクト受益者の一人となったゴバーダンさんは話します。

○貯水池 82 建設されたダム数(2005年以來) 250,000(受益者数)

Rotary India Water Conservation Trust(ロータリー・インド水保全トラスト)は、PHD 農村開発財団と協力し、2005年から2017年の間に82の砂防ダムを建設。これによって、250,000人を超える地域住民に恩恵をもたらしました。この活動では、ロータリー財団管理委員で、上記トラストの名誉会長を務めるスシル・グプタ氏が中心となってプログラムを推進しました。侵食を防ぐダムの高さは4.3メートル、基盤の深さは2.1メートルです。その集水域は3〜7キロに渡ります。近くの丘から水が集水域へと流れ、そこで約6〜8カ月留まります。水がひくと泥と豊かな鉱物が残るため、次のモンスーンが始まる前にもう一回収穫でき、現金収入を得ることが可能になりました。これらのうち20カ所のダムでは常に水が蓄えられており、魚もとることができます。ゴバーダンさんは、誇らしげに周辺の緑を指差します。「水が不足していた時は、粟と少しの小麦しか生産できませんでした。今では粟、小麦、野菜(オクラ・トマト・緑の唐辛子など)が収穫できます。井戸の水位も2.4メートルほど高くなりました」「砂防ダムのおかげで水を手に入れ、農地が劇的に拡大し、収入も激増した」と話すのは、PHD財団のCEO、アツル・リシさんです。「収入が100〜200倍になった農家もある」と、ムクテイ・ナレイン・ラルさんは話します。「藁葺き屋根の家が良い素材でできたプカハウスに変わり、ラクダが牛に変わり、畑を耕すトラクターもあります」ゴバーダンさんの家に集まった農夫の一人によると、仕事を求めて都会に出た5人の息子が皆、村に戻ってきたそうです。水は豊富にあり、穀物も沢山とれる。資金を貯めて最近、約8,000ドル(約88万8千円)のトラクターを購入したそうです。

砂防ダムは村人が責任をもって管理しています。また、それぞれのダムを監督する委員会が設置され、維持費となる資金も銀行で管理しています。

「ある委員会では、ダムの幅を拡張する計画を立てている」と、地元のIndraprastha-Okhlaロータリークラブ会員で、水保全トラストのプロジェクト責任者をしているアツル・デブさんは話します。「緑があることから分かるように、砂防ダムのおかげで動物、鳥、植物も生きることができるほどの水を得ることができました」

○国境を越えてつながる

2014年11月、デブさんは、Brumath-Truchtersheim-Kochersbergロータリークラブ(フランス)元会長のフィリペ・ダンゲルサーさんと一緒に、完成した砂防ダムの落成式と、新たにダム建設の起工式に出席しました。ダンゲルサーさんは、年に2回、フランスやドイツのロータリークラブからの寄付金をもってインドを訪れます。これまでに24件のダム建設に資金を投じました。今回は3万ユーロ(約355万円)で、4〜5つのダムを作る予定です。ダム一つのコストは12,000ドル(約133万円)で、これに地元の有志が集めた資金が加わります。ダンゲルサーさんとインドのつながりは、シカゴで行われた2005年ロータリー国際大会に遡ります。第3010地区(現在の第3011地区)のバスター・ランジャン・ディングラ氏がダンゲルサーさんをインドに招待したのです。その後ダンゲルサーさんは、ある農夫から「神が私たちに誕生させ、彼が私たちに命をくれた」と言われるほど熱心な協力者となりました。これらのダム建設プロジェクトでは、今日までに、ロシアや米国のロータリークラブのほか、教会からも寄付金が寄せられています。

「砂防ダムのおかげで動物、鳥、植物も生きることができるほどの水を得ることができました」

アツル・デブさん Indraprastha-Okhlaロータリークラブ(インド)の会員